

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.223

■ 2024 年度試作部品等製作委託事業 Web 説明会（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が固有技術や取引先に対する提案力を高めることが重要であると考えています。

そのため、当センターでは、自社の固有技術のレベルアップを目的として、次世代自動車に関わる試作部品の製作や工法開発に自費で取り組む中小会員企業を支援するため、試作部品等製作委託事業を実施しています。試作部品の製作や工法開発のテーマについては随時、提案や相談を受け付けています。

今回は、より多くの会員企業の皆様が、試作部品等製作委託制度を活用して固有技術のレベルアップを図っていただくため、望月センター長を講師として、応募資格、公募時期など、委託制度について解説する説明会を Web 形式で開催しました。

■ 日 時 : 令和6年1月19日(金) 13時30分～14時30分

■ 場 所 : Web形式

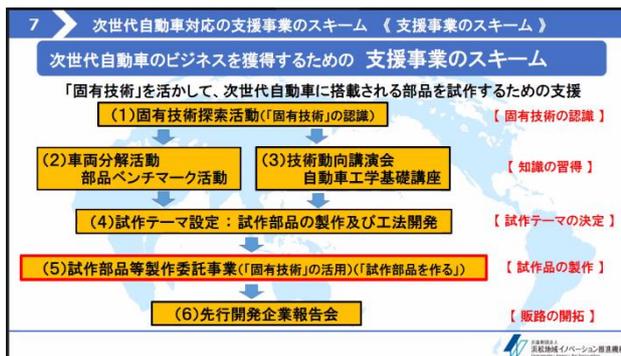
■ 参加者 : 18社/37名

2023年度 次世代自動車対応支援事業

2024年度 試作部品等製作委託事業 説明会  
～ 次世代自動車に関わる試作部品の製作と工法開発のための費用支援 ～

2024年 1月 19日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構  
次世代自動車センター浜松  
センター長 望月 英二



22 試作部品の製作及び工法開発の取り組み 《試作部品等製作委託事業概要》

試作部品等製作委託事業概要 (目的・応募資格)

(1) 事業目的  
「固有技術」を活用して、次世代自動車に搭載する部品の「試作製作」及び「工法開発」に挑戦する中小企業に試作費を支援すること。

(2) 応募資格

- センター会員企業で中小企業であること。
- 固有技術のレベルアップを目的としていること。
- 自費で、試作製作及び工法開発に取り組むこと。
- 試作に必要な技術力や製作設備を有すること。
- 試作による成果の検証が可能なこと。

25 試作部品の製作及び工法開発の取り組み 《試作部品等製作委託事業概要》

試作部品等製作委託事業概要 (事業の流れ)

- (1) テーマ提案  
会員企業は、テーマが見つかったら、相談ください。会員企業からの提案に基づき、公募するための委託仕様書(詳細図面はなく、仕様概要のみ)を作成する。
- (2) 公募  
仕様書を公表し、受託を希望する会員企業を募集する。
- (3) 応募  
受託を希望する会員企業は、所定の計画書により申し込む。尚、年度末(原則として、2月下旬)に終了。
- (4) ヒアリング  
提出された計画書について、技術コーディネータが内容を確認する。

29 試作部品の製作及び工法開発の取り組み 《テーマ提案》

次世代自動車に関する試作のテーマ提案 (その1)

No.	試作テーマ	試作対象部品	提案	業種
1	インバーター冷却用ヒートシンクの構成部品	ヒートシンク	生産性向上	鍛造
2	超ハイテン製の車体部材	パンパシバ	軽量化	プレス・溶接
3	電気自動車用中空モーターシャフト	モーターシャフト	軽量化	鍛造
4	電気自動車用中空モーターシャフト	モーターシャフト	軽量化	鍛造・機械加工
5	プレス深絞り加工によるモーターケース	モーターケース	軽量化	プレス・溶接
6	リニアレノイドアの連続ろう付け技術の開発	ソレノイドア	生産性向上	鍛造
7	超ハイテン製の車体部材	フロア補強板	軽量化	プレス・溶接
8	モーターシャフトのロレット歯すじ測定方法	モーターシャフト	生産性向上	機械加工
9	軽量コンロールケーブルの試作	コンロールケーブル	軽量化	機械加工・鍛造

### 【参加者の声】

- ・制度があることを知ることができて良かった。
- ・「テーマ提案」から「成果公表」までの流れの説明が分かりやすかった。
- ・次世代自動車センターの方が親身に相談にのっていただきながら進められると感じた。
- ・試作テーマを探す際、ベンチマークルームが大きな助けになると思った。
- ・弊社は利用実績があるため、利用するに当たってのハードルを高いとは思っていない。
- ・他の補助金では担当レベルで労務費などの管理などが必要だったが、本事業はそこまで参画に当たっての敷居が高そうには感じず、本題である開発業務に取り組みやすそうだと感じた。
- ・制度の利用については、流れの説明があったので分かったが、それを進めるための社内体制づくりが必要と思った。
- ・弊社の技術力次第と強く感じた。
- ・内容の列挙ではなく、具体例なども挙げていただいていたので、より明確で具体的な説明だった。
- ・様々な企業の過去の取り組みを知ることができた。
- ・自社内で実施している電気自動車部品開発や超ハイテン部品開発がテーマに当てはまっていることが分かった。